

## 令和4年度入学試験問題

### 受験上の注意

1. 監督の指示により、解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナ、解答する科目を記入し、受験番号、該当する試験日、解答する科目をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
2. 問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意してください。
3. 科目およびページは、次のとおりです。試験開始の合図があったら、まず受験する科目のページ数を確認してください。

科目	ページ
日本史	2～16
世界史	18～39
地理	42～64
政治・経済	66～85

4. 受験票を試験時間中は、机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
5. 質問、その他用件があるときは、手を上げて合図してください。
6. 試験時間中の退場は認めません。
7. 試験時間は60分です。
8. この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

# 日本史

〔 I 〕 次の文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。

701年に制定された大宝律令で、京内・宮中警固の  と地方の軍団が設置された。その兵役には戸籍・計帳が用いられ、正丁の3・4人に1人が徴用され、軍団に配属された。その一部は交代で都の  の衛士や、  年交代で九州防衛のための防人として配置された。

しかし、本来、農民である正丁にとって、兵役は農作業に従事できないなどの支障も少なくなく、また、軍団の兵士としての技量の質は高くなかった。こうした軍団兵士の実情の改善をはかって、792年、桓武天皇は 一部地域をのぞく諸国の軍団の兵士制度を廃止して、<sub>d</sub> 郡司の子弟らを健児として採用した。

9世紀以降、荘園の増加が公領（国衙領）を圧迫していくなかで地方政治が混乱し、任地に土着した国司の子孫や地方の豪族らが勢力の拡大を画して武装し、地域の紛争が頻発した。これを鎮圧するために派遣された押領使・  のなかには現地で武士となるものもあり、各地に武士団が形成された。武士のなかには朝廷や院、貴族と深く関わることで政治の舞台に頭角をあらわす源氏や平氏のような武士もでてきた。その例として、1156年の保元の乱や1159年の  があげられる。

鎌倉幕府が開かれると、将軍と御家人の御恩と奉公の関係を基礎として、g 守護・地頭制度を整備し軍事力の強化をはかった。続く、室町幕府も鎌倉幕府の軍制を継承するが、これとは別に奉公衆とよばれる  の直轄軍を編成した。室町幕府期は鎌倉時代以来、各地に根を下ろした守護大名が強大化しつつあった時代でもあり、3代将軍足利  はその統制と粛清をおこなった。応仁・文明の乱を経て室町幕府の力が衰え始めると、各地の守護大名や地域の実力者が、幕府の權威に頼らず独自の軍事力や徴税権を設け、自力で領国（分国）とよばれる地域の支配をおこなった。これが戦国大名で、精強な軍事力を編成するために家臣の統制につとめ独自の法律「分国法」を策定した。その一方で軍事力を維持するために、j 分国内の産業の発展につとめた。

問1 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 六衛府                      ② 左右京職                      ③ 五衛府  
④ 弾正台                      ⑤ 兵部省

問2 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 1                      ② 2                      ③ 3                      ④ 4                      ⑤ 5

問3 文章の下線部 c に「一部地域」とあるが、それはどこか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 東北・九州                      ② 東北・山陰                      ③ 四国・九州  
④ 山陰・山陽                      ⑤ 畿内・東北

問4 文章の下線部 d に「郡司の子弟らを健児として採用した」とあるが、その理由として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 当時の地方行政の拠点である屯倉の経営にかかわる家であったから。  
② 各地域を支配するにあたり相応の軍事力を有した家であったから。  
③ 律令制において天皇から直接任命されて任国の統治をおこなう家であったから。  
④ 内裏や行幸の警備、京内の治安維持にあたる家であったから。  
⑤ 代々、征東大使をつとめる家であったから。

問5 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 勘解由使                      ② 征討使                      ③ 追捕使  
④ 検非違使                      ⑤ 按察使

問6 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 承久の乱                      ② 鹿ヶ谷の陰謀                      ③ 治承・寿永の乱  
④ 平治の乱                      ⑤ 霜月騒動

問7 文章の下線部 g に「守護・地頭制度を整備し軍事力の強化をはかった」とあるが、このときの守護の権限として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 大番催促                      ② 使節遵行                      ③ 謀叛人の逮捕  
④ 殺害人の逮捕                      ⑤ 夜討・強盗の逮捕

問8 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 将 軍                      ② 侍 所                      ③ 鎌倉公方  
④ 管 領                      ⑤ 政 所

問9 文章の  に入れるのに最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 尊 氏    ② 直 義    ③ 義 詮    ④ 義 満    ⑤ 義 教

問10 文章の下線部 j に「分国内の産業の発展につとめた」とあるが、その内容として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。すべて適切な場合は、⑥をマークしなさい。 10

- ① 城郭・城下町の建設
- ② 河川の治水・灌漑
- ③ 鉱山の開発
- ④ 宿駅・伝馬の整備や関所の撤廃
- ⑤ 楽市・楽座などの商業振興

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。

鎌倉時代には、農業が発展し、畿内や西日本では [ a ] を裏作とする二毛作が普及した。農業技術の改良が推進され、鉄製農具や牛馬を利用した耕作が広くおこなわれ、生産力が向上した。肥料としては、山野で刈った草を田に敷き込む刈敷や、草木を焼いて作った草木灰がおもに用いられた。また、畑作物としては、灯明用の油の原料となる [ b ] などが栽培された。

交通の要地や寺社の門前などには、商品を売買する定期市が開設されたが、鎌倉時代には月に [ c ] 回開かれるのがふつうであった。市での売買は、米などの現物に代わって貨幣が多く用いられるようになったが、もっぱら中国からもたらされた [ d ] 銭が利用された。また、定期市のほか、常設の [ e ] が出現して商品の小売が活発化した。

遠隔地の商取引も活発で、陸上交通の要地には [ f ] ，海上交通の要地には湊が設けられ、商品の中継・委託販売や運送を担う [ g ] が発達した。また、金銭の送付を手形で代用する [ h ] が使用され、金融業者である [ i ] が出現した。御家人には金融業者からの借金に苦しむ者が多く、鎌倉幕府は [ j ] の徳政令を発令して対処したが、十分な成果をあげられなかった。

問1 文章の [ a ] に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 [ 11 ]

- ① あわ粟      ② 麻      ③ 麦      ④ ひえ稗      ⑤ 桑

問2 文章の [ b ] に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 [ 12 ]

- ① えごま荳胡麻      ② こうぞ楮      ③ あい藍      ④ くづ葛      ⑤ 茶

問3 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 1            ② 2            ③ 3            ④ 6            ⑤ 8

問4 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 漢            ② 隋            ③ 宋            ④ 明            ⑤ 清

問5 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 座            ② 講            ③ 土倉          ④ 見世棚      ⑤ 店借

問6 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 駅家          ② 宿            ③ 郡家          ④ 御厨          ⑤ 旅籠

問7 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 車借          ② 馬借          ③ 本陣          ④ 中馬          ⑤ 問丸

問8 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 為替          ② 通信符      ③ 株            ④ 勘合          ⑤ 無尽

問9 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 頼母子      ② 札差          ③ 両替商      ④ 掛屋          ⑤ 借上

問10 文章の  に入れるのに最も適切なものを，次の①～⑤のうちから一つ選  
びなさい。

- ① 正 長    ② 享 徳    ③ 永 仁    ④ 嘉 吉    ⑤ 明 応

〔Ⅲ〕 次のア・イの文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。

ア 18世紀後半、儒学一派である孔子・孟子の古典に直接立ち返ろうとする  や、諸学折衷の立場をとる折衷学派、さらにはその中から生まれた、確実な典拠によって儒学の古典を研究しようとする考証学派がさかんになり、儒学が武士・庶民間わず幅広く普及した。こうした中、江戸幕府は1790（寛政2）年に寛政異学の禁を発し、儒学の学派の中でも朱子学を正学として、幕府による支配の正統性を支える学問と位置づけた。やがて、湯島聖堂付属の学問所を幕府直轄の  と改め、朱子学による幕臣の教育を強く奨励した。

またこの頃、全国の藩では、藩士や子弟の教育のために  藩校（藩学）がさかんに設立された。藩校は、朱子学を中心とする儒学や武術を教授するものがほとんどであったが、のちには蘭学や国学も取り入れ、年齢や学力に応じた学級制もみられた。一方、領民教育のために  郷校（郷学）を設立した藩もあった。

民間でも、武士・学者・町人によって各地に  私塾が開かれ、儒学や国学・蘭学などが講義された。また、一般庶民の初等教育機関として、村役人・僧侶・神職・富裕な町人などによって都市や農村を問わず、寺子屋がつくられた。寺子屋では、主に読み・書き・そろばんなどの実用教育がおこなわれ、庶民の教育水準を高めた。

問1 アの文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 海南学派                      ② 崎門学                      ③ 古学派
- ④ 京学                              ⑤ 陽明学派

問2 アの文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 講武所                              ② 開成学校                      ③ 足利学校
- ④ 和学講談所                      ⑤ 昌平坂学問所

問3 アの文章の下線部cに「藩校（藩学）」とあるが、藩校と設立者の組み合わせとして適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 23

- ① 藩校—時習館      設立者—細川重賢
- ② 藩校—明倫館      設立者—毛利吉元
- ③ 藩校—修猷館      設立者—黒田斉隆
- ④ 藩校—造士館      設立者—佐竹義和
- ⑤ 藩校—日新館      設立者—松平容頌

問4 アの文章の下線部dに「郷校（郷学）」とあるが、1670（寛文10）年に岡山藩主池田光政が設立した郷校として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 24

- ① 閑谷学校                      ② 懐徳堂                      ③ 弘道館
- ④ 含翠堂                      ⑤ 明德館

問5 アの文章の下線部eに「私塾」とあるが、1838（天保9）年に緒方洪庵が設立した私塾である適々斎塾の設立地として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 25

- ① 萩                      ② 京都                      ③ 江戸                      ④ 長崎                      ⑤ 大坂

イ 文化期には、滑稽さや笑いをもとに、庶民の生活を生き生きと描いた滑稽本が人々の人気を集め、式亭三馬や十返舎一九が現れた。また、文政期以降、江戸町人の生活、特に男女の恋愛を描いた  が庶民に受け入れられたが、代表的作者である為永春水は、 の風俗取り締まりで処罰された。

一方、文章を主体とした小説で歴史や伝説を題材にした  は、大坂の上田秋成が日本や中国の歴史を題材とした怪奇小説を書き、江戸の 曲亭馬琴 が勸善懲悪・因果応報の思想を底流にした作品を書いて評判を得た。

俳諧では、信濃の百姓 小林一茶 が郷里の風物や農民感情をよみ、人間味あふれた素朴な作品を残した。また、和歌では、化政期から天保期に香川景樹らの桂園派が古今調の平明な歌風をおこし、他方、越後の禅僧  は、万葉調の童心あふれた独特の歌風をつくりあげた。

問6 イの文章の  ,  に入れる語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① f—黄表紙      h—読 本
- ② f—人情本      h—洒落本
- ③ f—人情本      h—読 本
- ④ f—読 本      h—黄表紙
- ⑤ f—洒落本      h—人情本

問7 イの文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 天保の改革                      ② 寛政の改革                      ③ 文久の改革
- ④ 享保の改革                      ⑤ 安政の改革

問8 イの文章の下線部 i に「曲亭馬琴」とあるが、その代表的作品として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 28

- ① 『北越雪譜』                      ② 『浮世風呂』                      ③ 『春色梅児誉美』  
④ 『南総里見八犬伝』              ⑤ 『東海道中膝栗毛』

問9 イの文章の下線部 j に「小林一茶」とあるが、その代表的作品として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 29

- ① 『浮世床』                          ② 『雨月物語』                      ③ 『誹風柳多留』  
④ 『おらが春』                      ⑤ 『笈の小文』

問10 イの文章の k に入れるのに最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。 30

- ① 宗 祇      ② 契 沖      ③ 良 寛      ④ 如 拙      ⑤ 呉 春

〔Ⅳ〕次の史料を読んで、それぞれの設問に答えなさい（山川出版社『詳説日本史史料集 再訂版』より作成。史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある）。

然ルニ<sup>a</sup> 太政維新列藩版図ヲ奉還シ、<sup>b</sup> 辛未ノ歳ニ及ヒ 遠ク郡県ノ古ニ復ス。<sup>c</sup> 世<sup>d</sup>  
襲坐食ノ士ハ其禄ヲ減シ、刀剣ヲ脱スルヲ許シ、<sup>e</sup> 四民漸ク自由ノ権ヲ得セシメント  
ス。是レ上下ヲ平均シ、人権ヲ齊一ニスル道ニシテ、<sup>f</sup> 則チ兵農ヲ合一ニスル基ナリ。  
…凡ソ天地ノ間一事一物トシテ税アラサルハナシ。以テ国用ニ充ツ。然ラハ則チ人タル  
モノ固ヨリ心カヲ尽シ国ニ報セサルヘカラス。西人\*之ヲ称シテ<sup>g</sup> 血税ト云フ。其生血  
ヲ以テ国ニ報スルノ謂ナリ。…西洋諸国、数百年来研究実践以テ<sup>h</sup> 兵制ヲ定ム。…故ニ  
今其長スル所ヲ取り、<sup>i</sup> 古昔ノ軍制ヲ補ヒ、海陸二軍ヲ備ヘ、全国四民男児二十歳ニ至  
ル者ハ 尽ク兵籍ニ編入シ、以テ<sup>j</sup> 緩急ノ用ニ備フヘシ。

\* 西人：西洋人

問1 史料の下線部 a の「太政維新列藩版図ヲ奉還シ」とは版籍奉還のことであるが、その説明として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

31

- ① 版図は各藩の領地のことを指す。
- ② 藩主が領地・領民を天皇に返還し、新政府が全国の支配権を形式上その手におさめた。
- ③ 木戸孝允・大久保利通らが画策した。
- ④ まず薩摩・長州・土佐・肥前の四藩主が朝廷へ出願し、多くの藩がそれになった。
- ⑤ 旧藩主は県令に任用されて、大名の領地支配は形式的に廃止されるにとどまった。

問2 史料の下線部bに「辛未<sup>しんび</sup>ノ歳」とあるが、その年として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 **32**

- ① 1870（明治3）年      ② 1871（明治4）年      ③ 1872（明治5）年  
④ 1873（明治6）年      ⑤ 1874（明治7）年

問3 史料の下線部cに「遠ク郡県ノ古<sup>いにしへ</sup>ニ復ス」とあるが、何のことを指すか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 **33**

- ① 大政奉還                      ② 太政官制                      ③ 府県制・郡制  
④ 王政復古                      ⑤ 廃藩置県

問4 史料の下線部dに「世襲<sup>せしゅう</sup>坐食<sup>そのろく</sup>ノ士ハ其禄ヲ減シ、刀剣ヲ脱スルヲ許シ」とあるが、士族に対して明治政府がおこなった処遇に関する説明として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 **34**

- ① 1868（明治元）年に家禄が支給されなくなった。  
② 1873（明治6）年に秩禄奉還の法を定めた。  
③ 1876（明治9）年にすべての受給者に金禄公債証書を与えて、秩禄を全廃した。  
④ 1871（明治4）年に脱刀の自由を布告した。  
⑤ 1876（明治9）年に廃刀令を出し、軍人・警官以外の帯刀を禁止した。

問5 史料の下線部eに「四民漸<sup>ようや</sup>ク自由ノ権ヲ得セシメントス。是レ上下ヲ平均シ、人権ヲ齊<sup>せいいつ</sup>一ニスル道ニシテ、則<sup>すなわ</sup>チ兵農ヲ合一ニスル基<sup>もと</sup>ナリ」とあるが、何のことを指すか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

**35**

- ① 四民平等                      ② 自由主義                      ③ 身分解放  
④ 人権指令                      ⑤ 兵農分離

問6 史料の下線部 f に「血税」とあるが、この言葉が新政府反対一揆の一因となつたとされる。この時期の新政府反対一揆の説明として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 36

- ① 高額な租税などに反対した農民による血税一揆が頻発した。
- ② 北条県（現、岡山県の一部）の血税一揆には数万人が参加した。
- ③ 茨城県では、真壁騒動という地租改正反対一揆が起こった。
- ④ 三重県では、伊勢暴動が起こり、堺・愛知・岐阜県にも拡大した。
- ⑤ 1877（明治10）年に明治政府は地租の税率を地価の3%から2.5%に引き下げた。

問7 史料の下線部 g に「兵制」とあるが、国民皆兵制にもとづく近代的軍隊の創設を構想した最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。 37

- ① 板垣退助                      ② 伊藤博文                      ③ 大村益次郎
- ④ 西郷隆盛                      ⑤ 黒田清隆

問8 史料の下線部 h に「古昔ノ軍制ヲ補ヒ、海陸二軍ヲ備ヘ」とあるが、この時期の軍事制度の内容として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 38

- ① 明治政府の直轄軍として、1871（明治4）年に近衛兵が組織された。
- ② 1871（明治4）年に近衛兵を（御）親兵とし、天皇の警護にあたらせた。
- ③ 刑部省のもとで各地に鎮台が設置された。
- ④ 廃藩とともに藩兵は解散されたが、一部は鎮台に配置された。
- ⑤ 軍務官は、1872（明治5）年に陸軍省と海軍省に分けられた。

問9 史料の下線部 i に「全国四民男児二十歳ニ至ル者ハ 尽<sup>ことごと</sup>ク兵籍ニ編入シ」とあるが、この時に実際にはどのようにおこなわれたか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 39

- ① 1年間の兵役を義務付けた。
- ② 代人料270円をおさめるものは兵役を免除された。
- ③ 戸主とその跡継ぎは、兵役を免除されなかった。
- ④ 官吏や学生は、兵役を免除されなかった。
- ⑤ 実際に兵役を負担したのは農村の長男が多かった。

問10 この史料の名称として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 40

- ① 戊申詔書
- ② 徴兵告諭
- ③ 地租改正条例
- ④ 徴兵令
- ⑤ 軍人勅諭